
基本目標

市民とともに創る自立分権都市

施策 47 分権型のまちづくりの推進

施策 48 皆で担うまちづくりの推進

施策 49 行政サービス提供体制の充実

施策 50 市民と行政のコミュニケーションの充実

基本目標Ⅴ 市民とともに創る自立分権都市

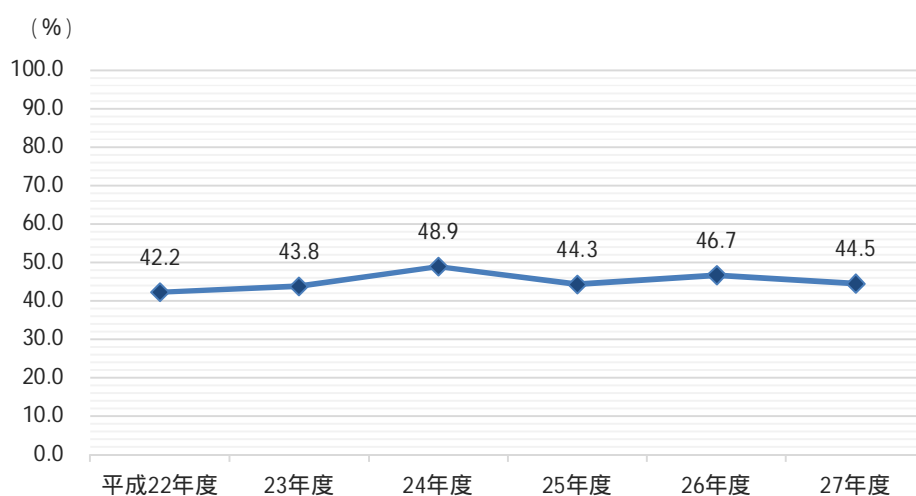
施策47 分権型のまちづくりの推進

(1) 成果指標

住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合(%)

平成22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標 (31年度)
42.2	43.8	48.9	44.3	46.7	44.5	54.7

図表Ⅴ-1 住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

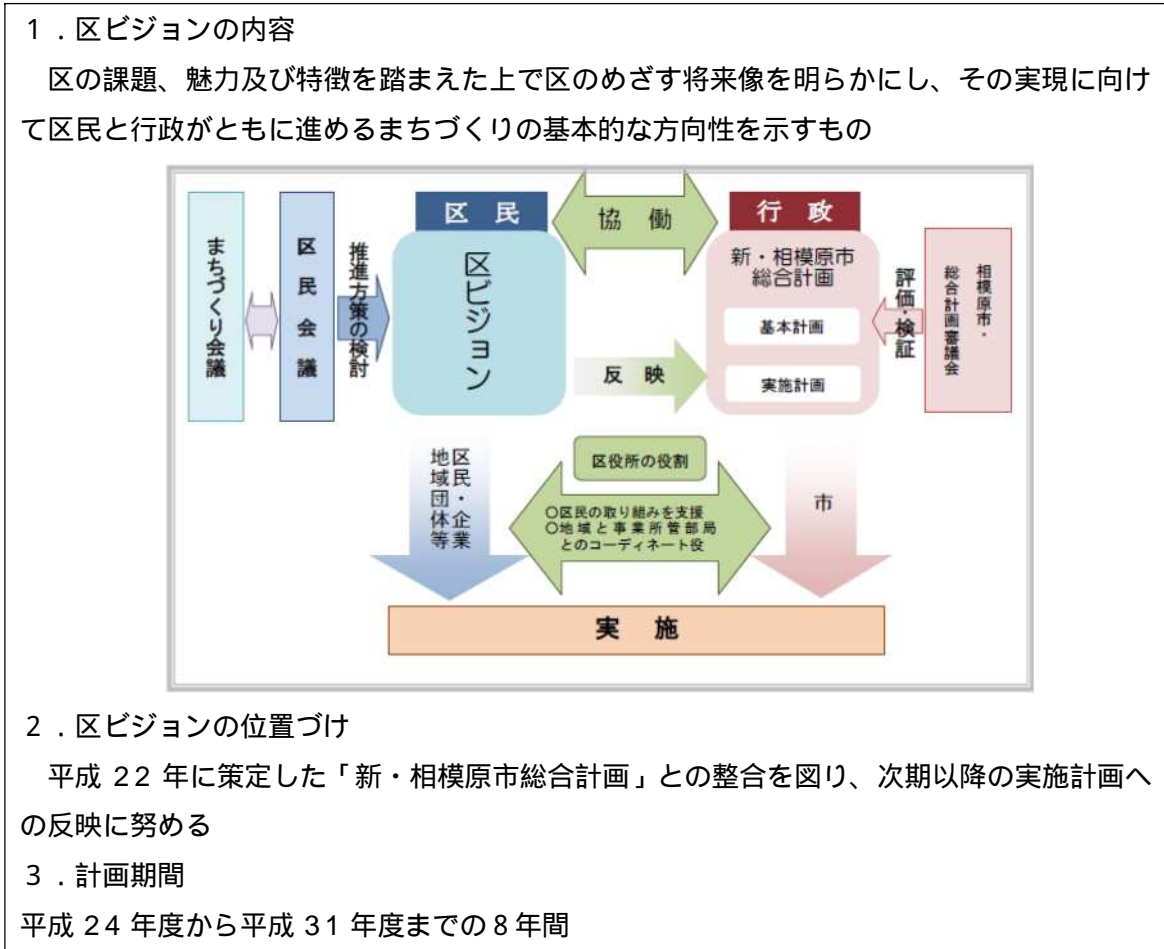
(2) 関連データの動向

【取り組みの方向1】 区制による分権型の行政体制の推進

【取り組みの方向2】 区制を生かしたまちづくりの推進

- 相模原市では区制による分権型のまちづくりに向けて、区ビジョンにもとづき各地域のまちづくり会議と各区の区民会議を中心として、地域の実態とニーズに即したまちづくりを進めている。

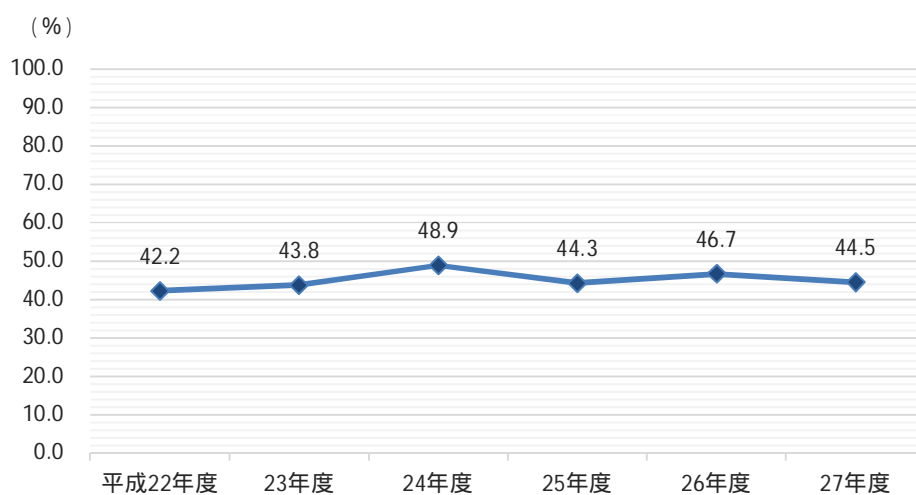
図表V-2 相模原市各区の区ビジョンの概要



資料) 相模原市「緑区・中央区・南区区ビジョンの策定について(平成 24 年 8 月 13 日)」より作成

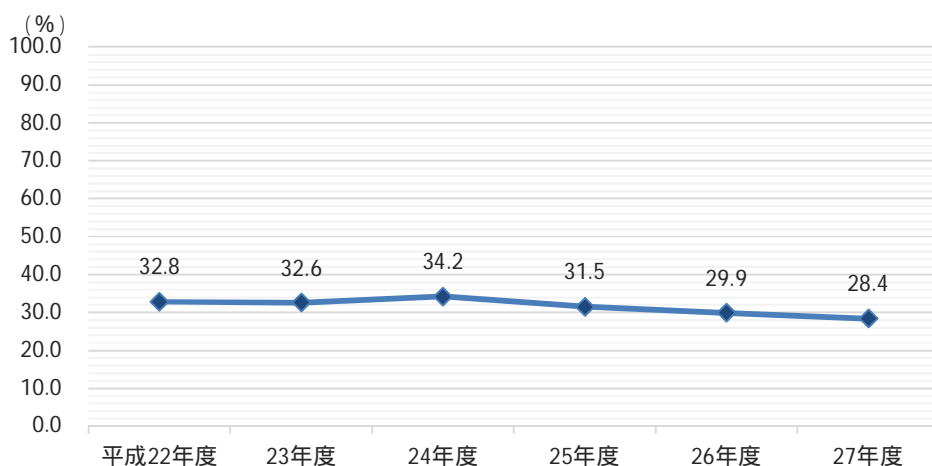
- 市民が住んでいる地域の街づくりや課題解決に区民主体で進めていると感じている割合は、近年は増減を繰り返しつつ約4～5割の水準で推移している。
- 市民の地域活動への参加率は約3割前後で平成25年以降は低下傾向にある。
- まちづくり会議、区民会議の認知度は低く、それぞれ名前も知らない区民が7割以上も占めている。

図表V-3 住んでいる地域のまちづくりや課題解決を区民主体で進めていると感じる市民の割合（再掲）



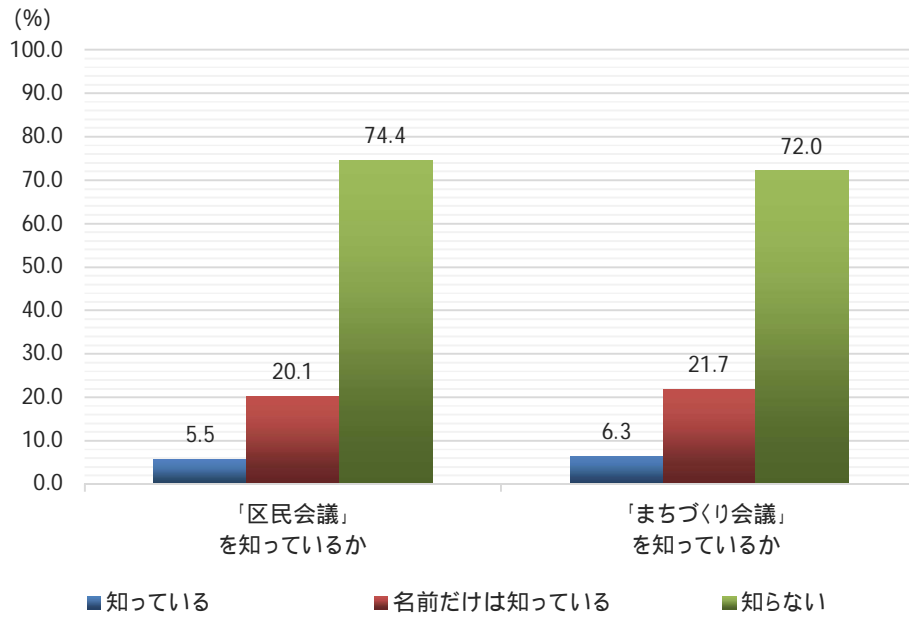
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-4 地域活動への参加率



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-5 まちづくり会議、区民会議の認知度（平成27年）



資料) 相模原市「相模原市総合計画の進行管理等に係わる市民アンケート調査（平成 27 年実施）」より作成

(3) 現状のまとめ

取り組みの方向1 区制による分権型の行政体制の推進

取り組みの方向2 区制を生かしたまちづくりの推進

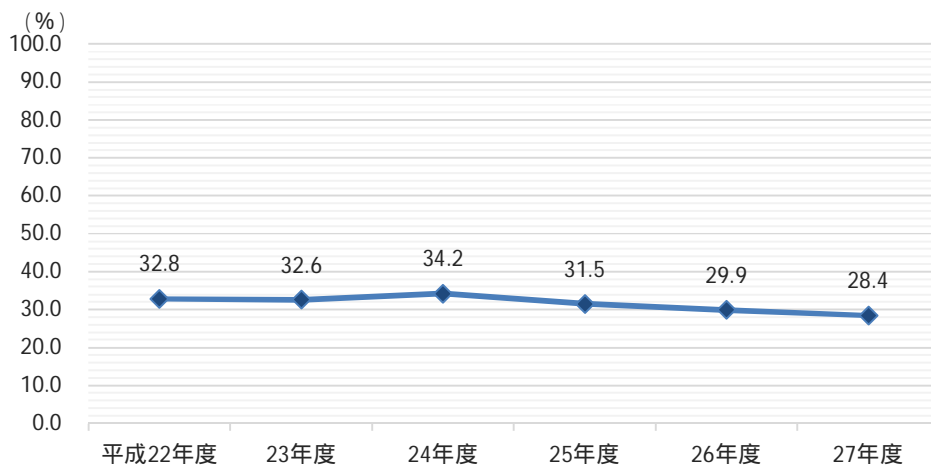
- 各区において区ビジョンにもとづき、各地域のまちづくり会議と区民会議を中心とした分権型のまちづくりが進められているが、市民の実態としてこれらの会議の認知度が低く、また地域活動への参加率も近年は低下傾向にある。

施策48 皆で担うまちづくりの推進

(1) 成果指標

地域活動への参加率 (%)						
平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
32.8	32.6	34.2	31.5	29.9	28.4	37.4

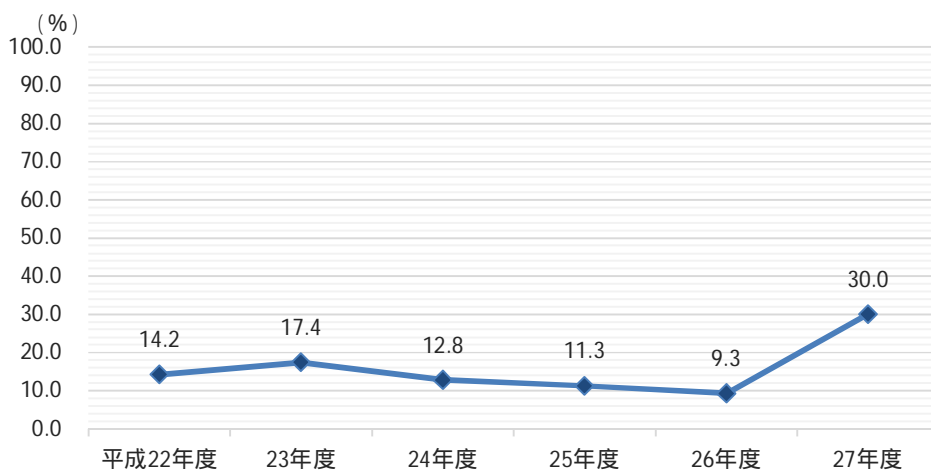
図表V-6 地域活動への参加率



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

市民活動への参加率 (%)						
平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
14.2	17.4	12.8	11.3	9.3	30.0	16.1

図表V-7 市民活動への参加率



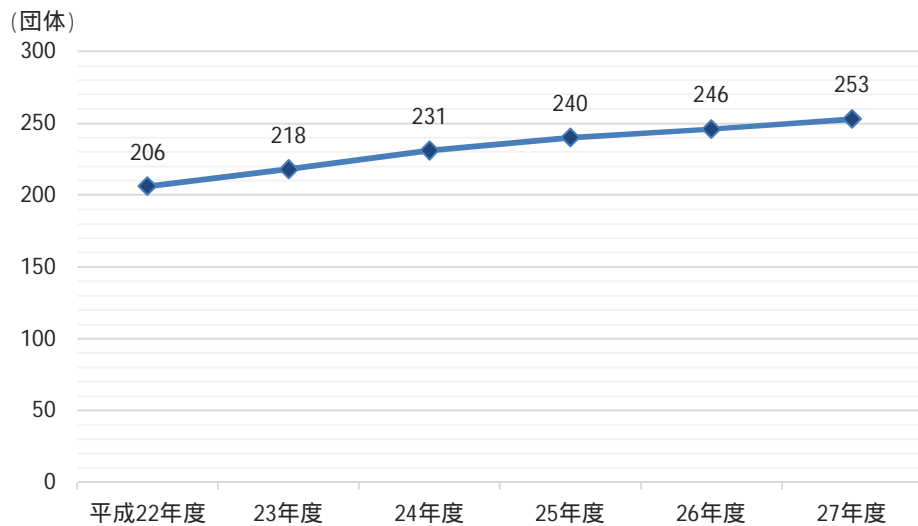
注) 平成 26 年度までは「参加している」、平成 27 年度は「よく参加している」「ときどき参加している」の合計であり両者を単純に比較することは出来ない点に留意する必要がある。

資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

市内のNPO法人数（団体）

平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
206	218	231	240	246	253	270

図表V-8 市内のNPO 数の推移



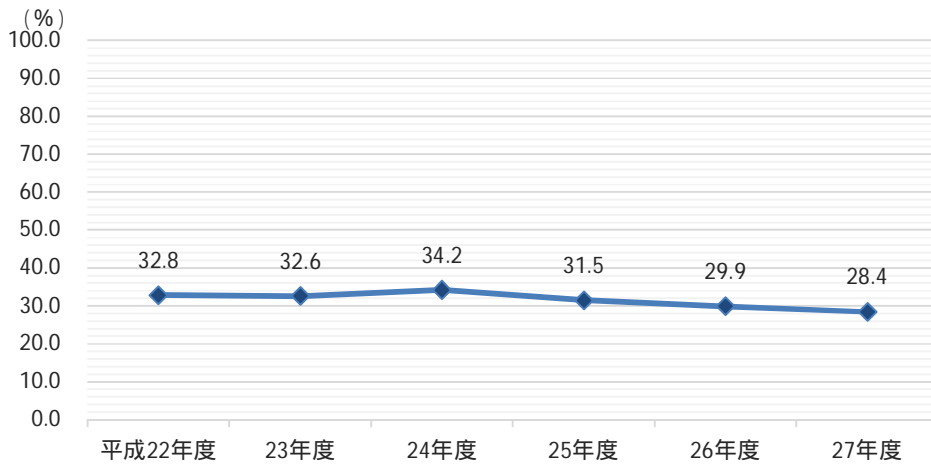
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

(2) 関連データの動向

【取り組みの方向1】 地域活動の促進

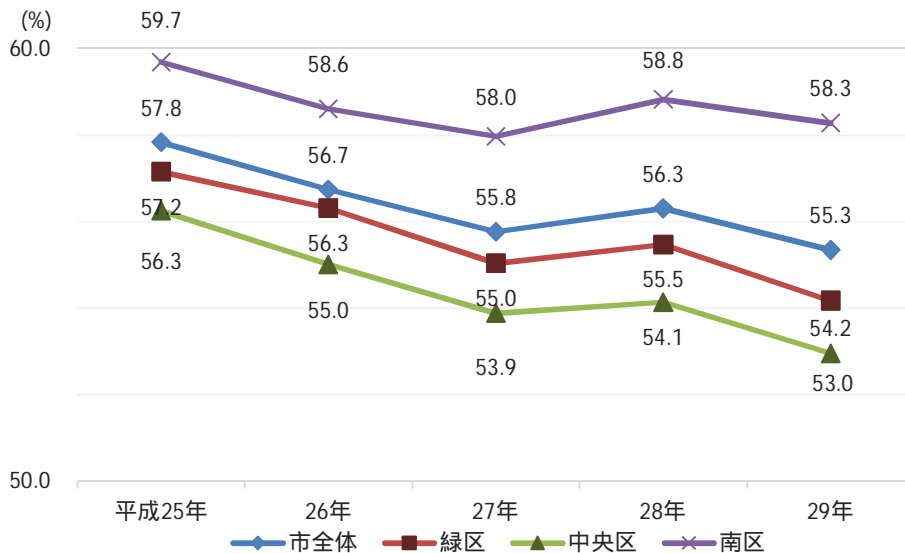
- 地域活動への参加率は3割前後に留まっており、また近年僅かながら低下傾向にある。
- 世帯単位でみた自治会加入率は5～6割の水準で推移しており、区別では南区が高く、中央区が低くなっている。
- 地域団体が街の美化に取り組む街美化アダプト制度の実施団体数は、近年増加傾向にあったが、直近の平成27年度は前年度から減少している。

図表V-9 地域活動への参加率（再掲）



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

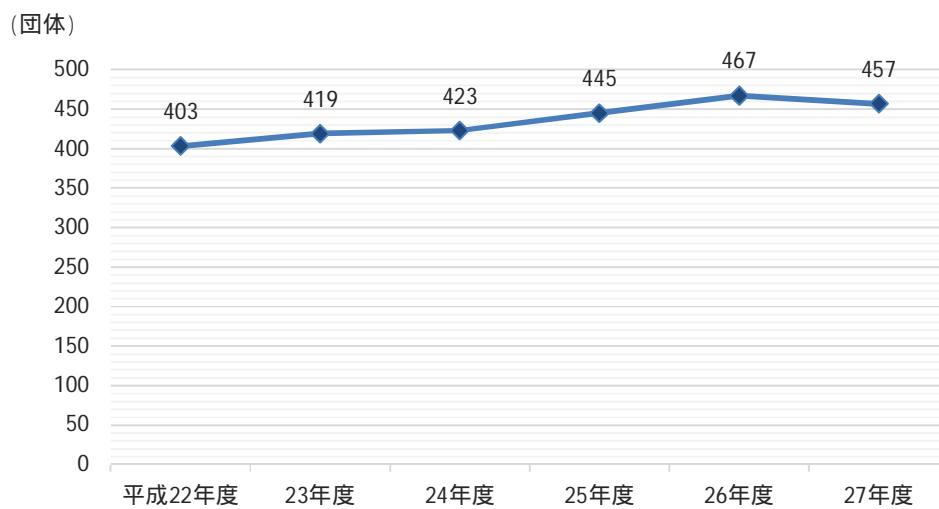
図表V-10 自治会加入率



注) 自治会加入率：各年4月1日時点の自治体加入世帯数が全世帯数に占める割合

資料) 相模原市議会議会局「相模原市政の概要」より作成

図表V-11 街美化アダプト制度の実施団体数



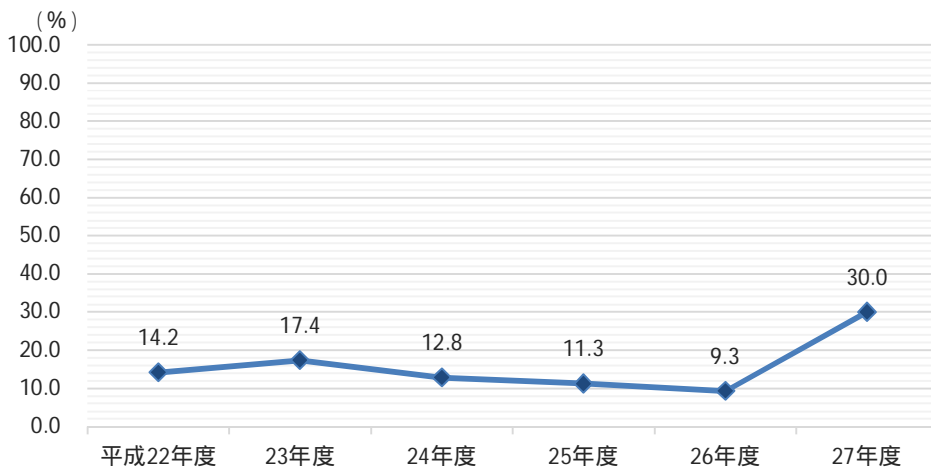
注) 地域の公園、緑地など公共スペースの美化活動等を市民が自主的に行い、市はその活動を支援する制度
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

【取り組みの方向2】 NPOなどの市民活動の促進

【取り組みの方向3】 様々なまちづくりの担い手の連携促進

- 市民活動への参加率（「参加している」と回答した市民の割合）は平成26年までの推移で見ると1割前後の低い水準で推移している。
- 一方、市民活動の主要な担い手の一つである市内のNPO法人数は近年増加傾向にあり、またさがみはら市民サポートセンターの利用団体数も概ね増加傾向にある。
- また、ボランティア認定制度における活動認定者数は22人と小規模に留まっている。
- 協働事業提案制度は、提案数の提案数、採択数は概ね安定的に推移している。
- 包括連携協定締結大学との連携実績は平成28年度に378件と増加傾向にある。

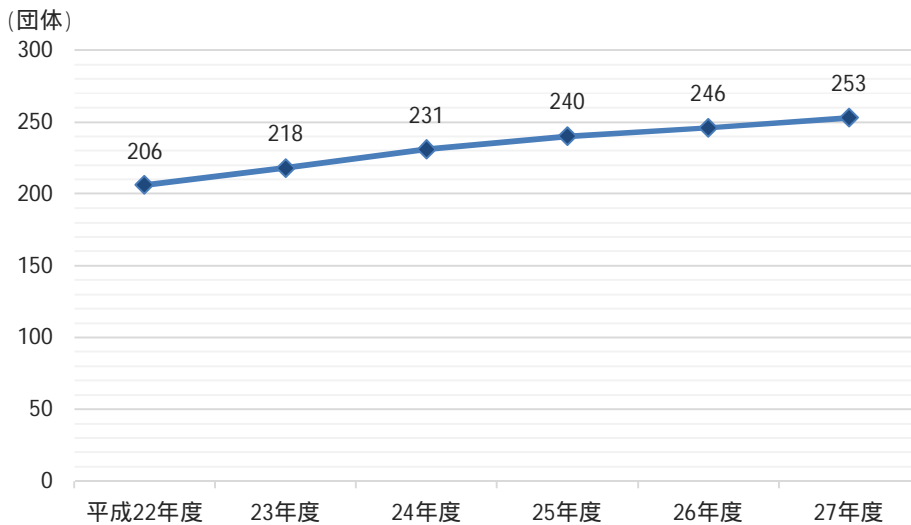
図表V-12 市民活動への参加率（再掲）



注) 平成26年度までは「参加している」、平成27年度は「よく参加している」「ときどき参加している」の合計であり両者を単純に比較することは出来ない点に留意する必要がある。

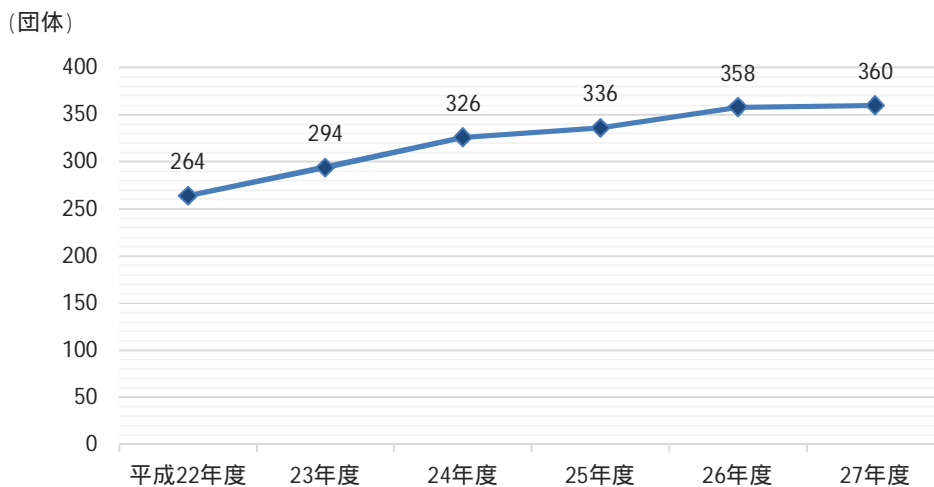
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-13 市内のNPO数の推移（再掲）



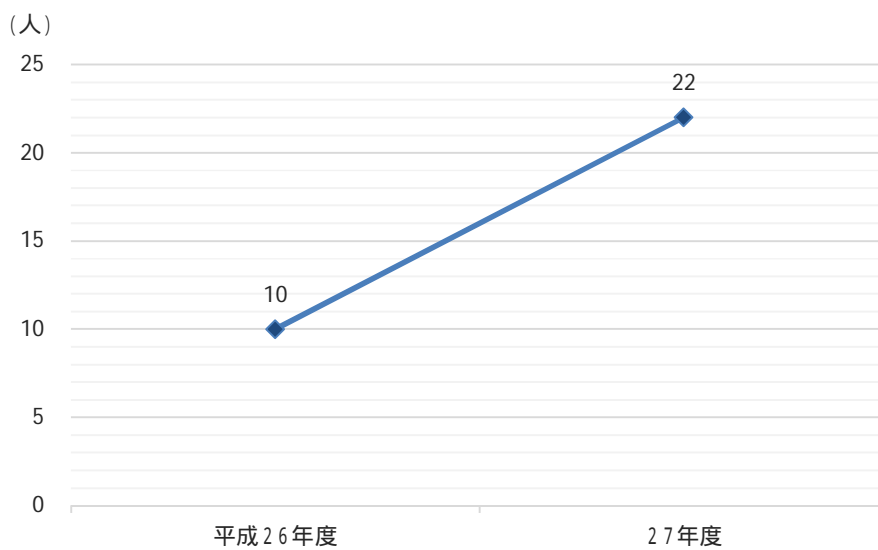
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-14 さがみはら市民活動サポートセンター登録団体数の推移



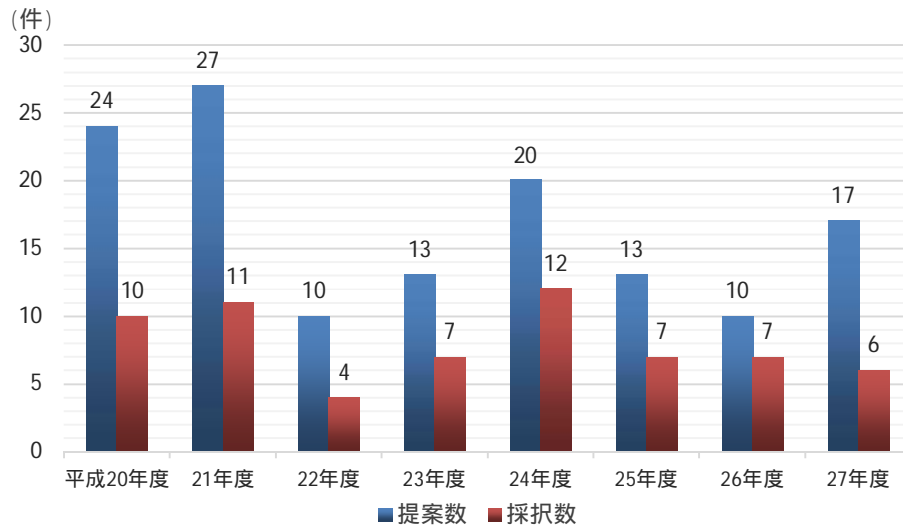
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-15 ボランティア認定制度における活動認定者数



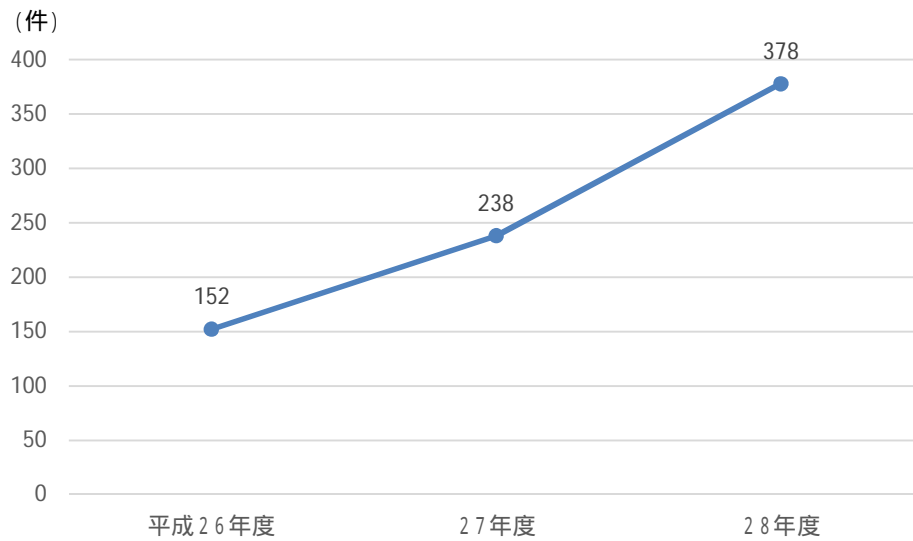
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-16 協働事業提案制度、提案数及び採択数



資料) 「相模原市市民協働推進基本計画」「市民協働推進基本計画進行管理シート」より作成

図表V-17 包括連携協定締結大学との連携実績件数



資料) 相模原市提供資料より作成。包括連携協定締結は平成26年度から。

(3) 現状のまとめ

取り組みの方向1 地域活動の促進

- 地域活動への参加率は3割前後と低い水準で近年低下傾向にあり、自治会加入率も5～6割程度で横ばい傾向にある。また、街の美化に取り組む地域団体もこれまで増加していたものの直近は減少している。

取り組みの方向2 NPOなど市民活動の促進

取り組みの方向3 さまざまなまちづくりの担い手の連携促進

- 市民活動への参加率は1割前後と低い水準に留まり、ボランティア認定制度の認定者数も小規模に留まっているなど個人に着目した市民活動の実態は活発とは言い難い状況にある。一方、NPO団体数、さがみはら市民サポートセンター利用団体数など担い手となる団体は増加傾向にある。
- 協働事業提案制度は安定的に利用されている。

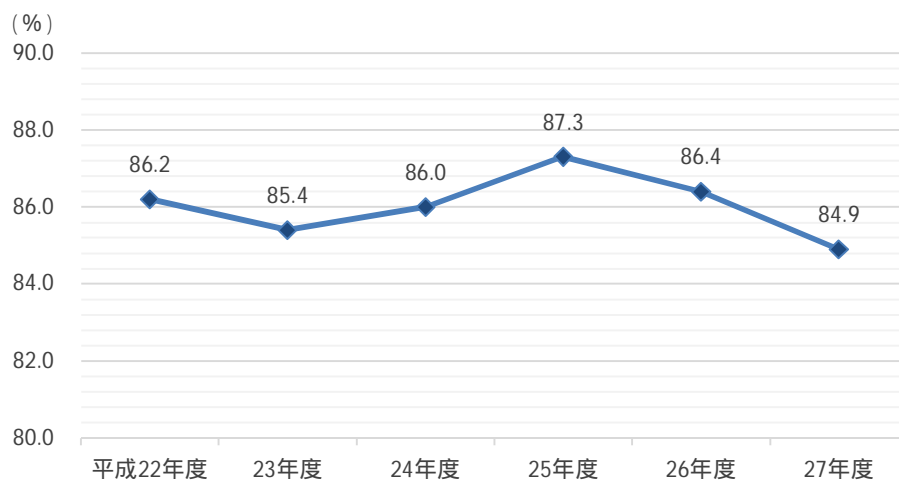
施策49 行政サービス提供体制の充実

(1) 成果指標

求めている行政サービスが、必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合(%)

平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
86.2	85.4	86.0	87.3	86.4	84.9	90.0

図表V-18 求めている行政サービスが必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

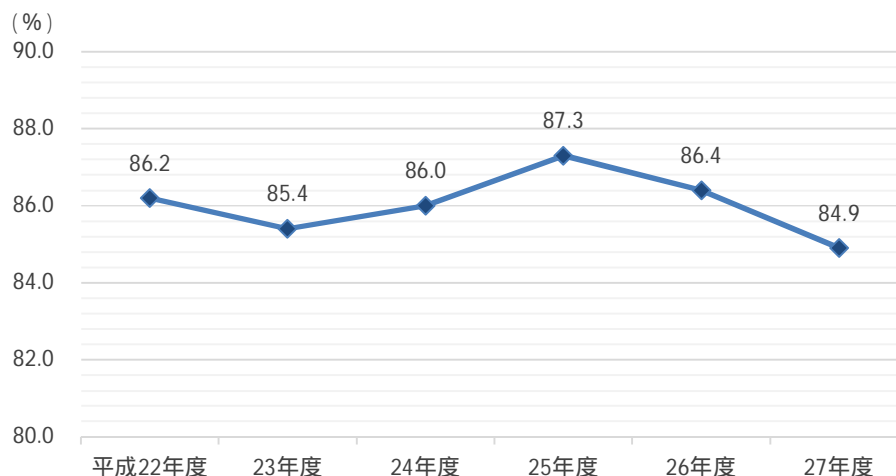
(2) 関連データの動向

【取り組みの方向1】 区役所などにおけるサービスの充実

【取り組みの方向2】 市民が利用しやすいサービスの充実

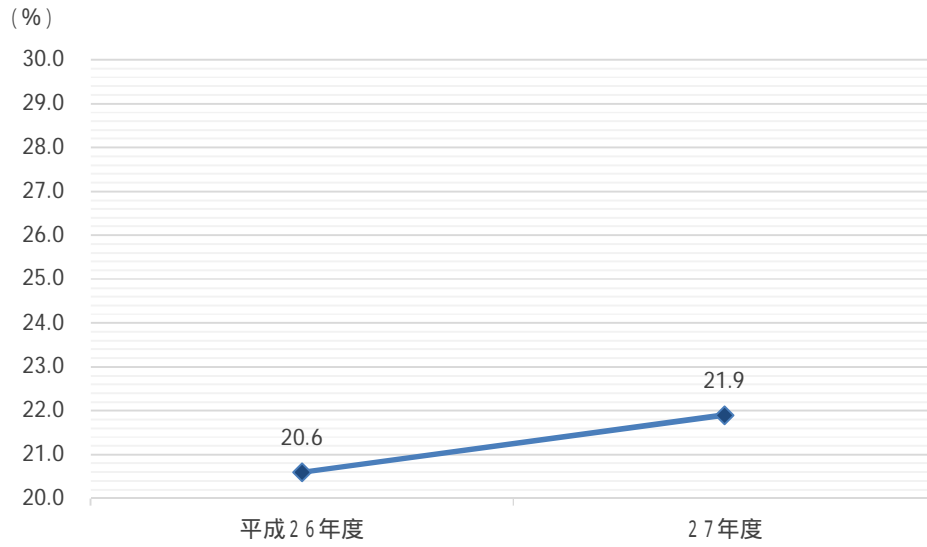
- 行政サービスが必要な時に身近な場所で受けることができていると感じている市民の割合は概ね 85%前後と高水準で推移しているものの、直近3年間は低下傾向にある。
- 諸証明書の自動交付機等、窓口以外での交付件数の割合は上昇しているが、約2割と未だ十分とは言い難い水準にある。
- 主要財政指標全般を政令指定都市平均及び全国の自治体平均と比較すると、相模原市は人口あたり職員数、人口一人あたり人件費・物件費等の決算額、ラスパイレス指数は政令指定都市及び全国とほぼ同等であり、将来負担率は全国と同等で政令指定都市よりも良好な水準にあり、財政力指数は政令指定都市と同等で全国よりも良好、実質公債費比率は政令指定都市、全国よりも良好となっており、財政の状況は政令指定都市平均、全国平均と比較すると相対的に良好な状況にあると言える。
- ただし、行政サービスを支える本市の財政は、扶助費や公債費などの増加により平成27年度の経常収支比率が98.0%に達しており、政令指定都市の中で2番目に高いなど、硬直化が進行している。

図表V-19 求めている行政サービスが必要なときに身近な場所で受けることができていると感じる市民の割合(再掲)



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-20 諸証明書(住民票, 印鑑証明) 交付の全体数に占める自動交付機等、窓口以外での交付件数の割合



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-21 相模原市と政令指定都市、全自治体との主要財政指標の比較 (平成26年度)



注: 類似団体平均は政令指定都市の平均

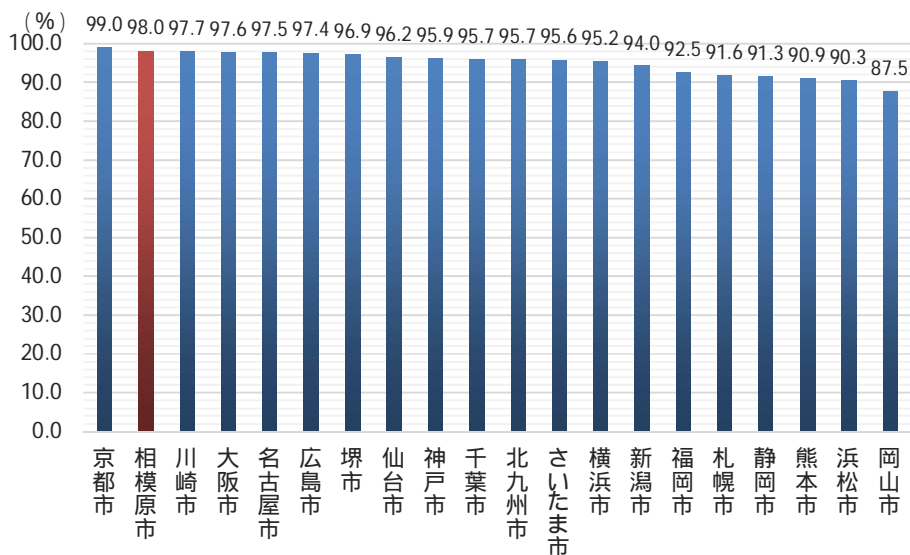
資料) まち・ひと・しごと創生本部「地域経済分析システム (RESAS)」

図表V-22 相模原市の経常収支比率の推移



資料) 相模原市「第2次さがみはら都市経営指針(平成29年2月)」

図表V-23 政令指定都市の経常収支比率の比較(平成27年度)



資料) 総務省「平成27年度地方公共団体の主要財政指標一覧」より作成

(3) 現状のまとめ

取り組みの方向1 区役所などにおけるサービスの充実

取り組みの方向2 市民が利用しやすいサービスの充実

- 行政サービスに対する市民の評価は概ね高い水準で推移しているが、近年やや低下傾向にある。
- 財政を取り巻く環境が厳しくなる中で、質の高い行政サービスを継続的に実施するためには、サービスの効率化と安定的な財政基盤の確保が必要であり、本市においても行財政の改革に継続的に取り組んでいる。これにより、主要財政指標は全国や政令指定都市の中では比較的健全な水準となっているが、経常収支比率は政令指定都市の中で2番目に高いなど近年財政の硬直化が進行しており、引き続き改革に取り組むことが求められている。

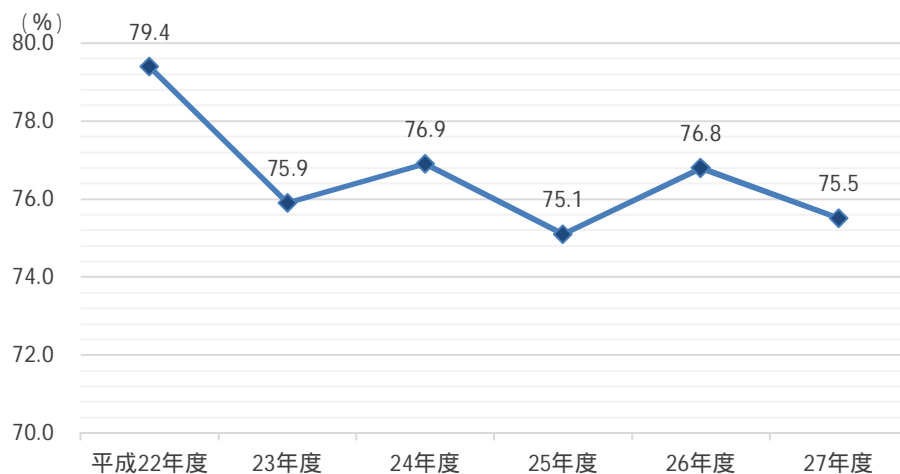
施策50 市民と行政のコミュニケーションの充実

(1) 成果指標

市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合 (%)

平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
79.4	75.9	76.9	75.1	76.8	75.5	78.3

図表V-24 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合



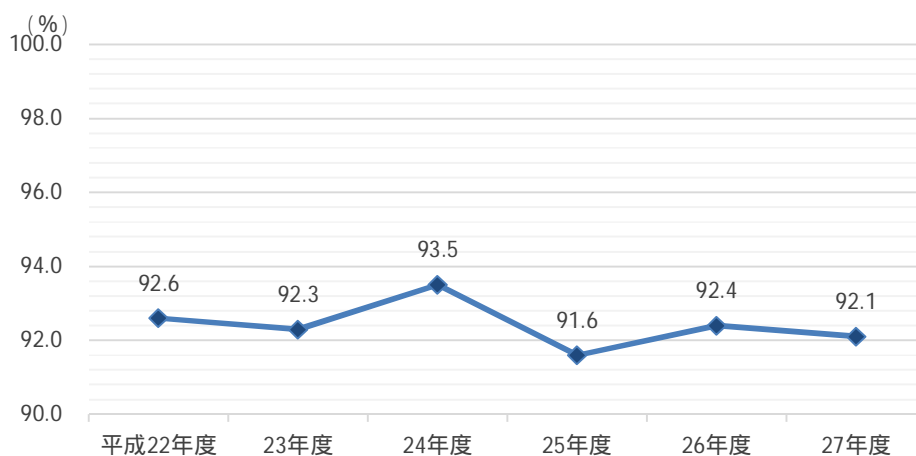
注) 「十分である」「どちらかと言えば十分」「ふつう」の合計

資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合 (%)

平成 22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	最終目標 (31 年度)
92.6	92.3	93.5	91.6	92.4	92.1	95.0

図表V-25 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合



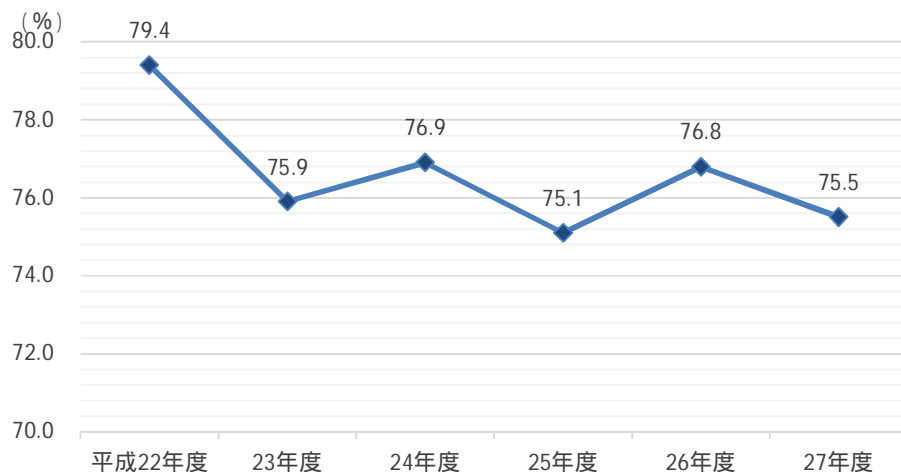
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

(2) 関連データの動向

【取り組みの方向1】 広聴、相談体制の充実

- 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合は、平成 24 年以降は 76%前後で増減を繰り返しつつ概ね横ばいで推移している。ただし、指標値は「十分である」「どちらかといえば十分」「ふつう」の合計であり、ふつうと考えている市民が最も多くの割合を占めている点に留意が必要である。
- 広聴（陳情、要望、提案）件数、市民相談件数、「わたしの提案」受付件数はともに微減傾向にある。
- コールセンターの利用状況は微増傾向にある。

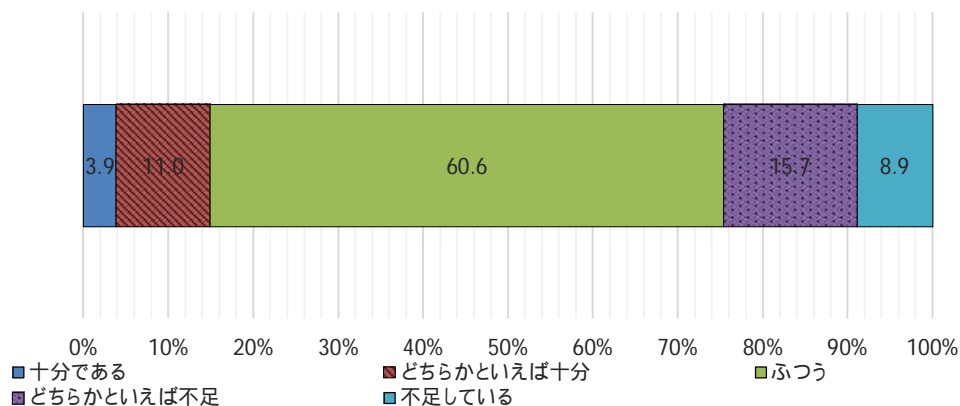
図表V-26 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合（再掲）



注) 「十分である」「どちらかといえば十分」「ふつう」の合計

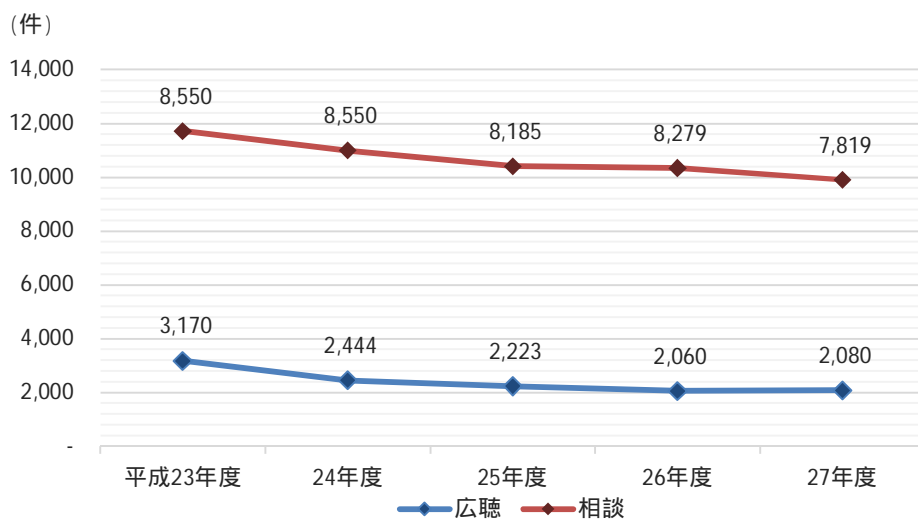
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-27 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合（内訳、平成27年度）



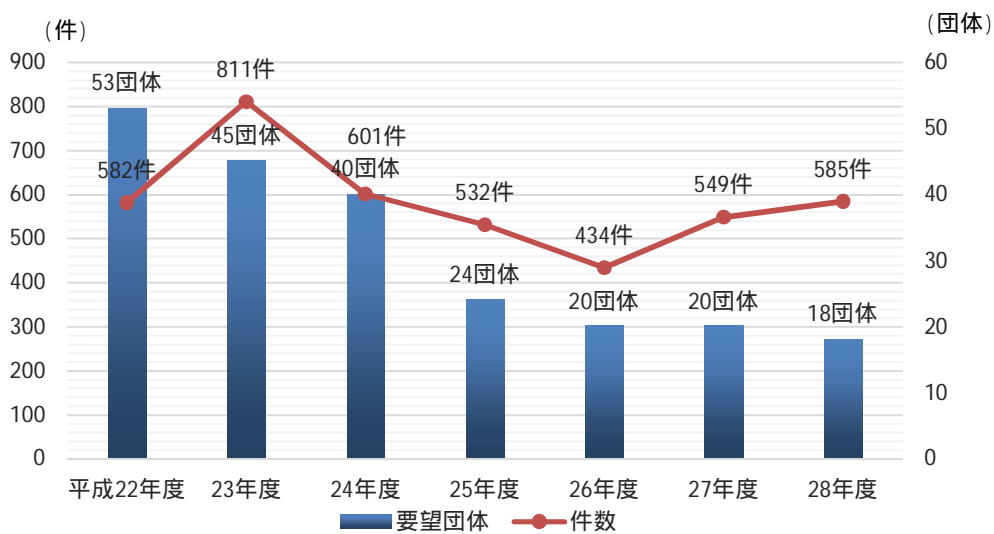
資料) 相模原市「相模原市総合計画の進行管理等に係わる市民アンケート調査（平成 27 年実施）」より作成

図表V-28 広聴・市民相談件数



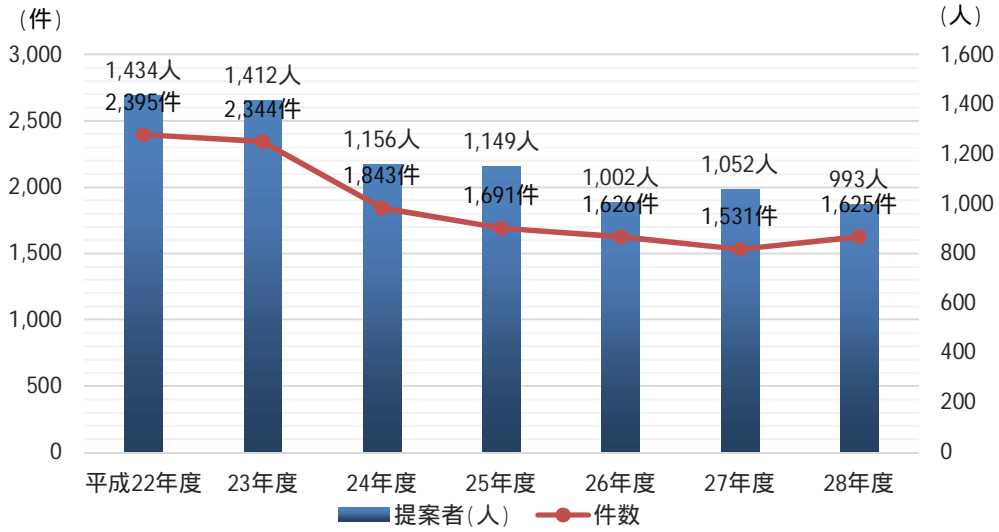
資料) 相模原市統計書より作成

図表V-29 陳情・要望の受付件数



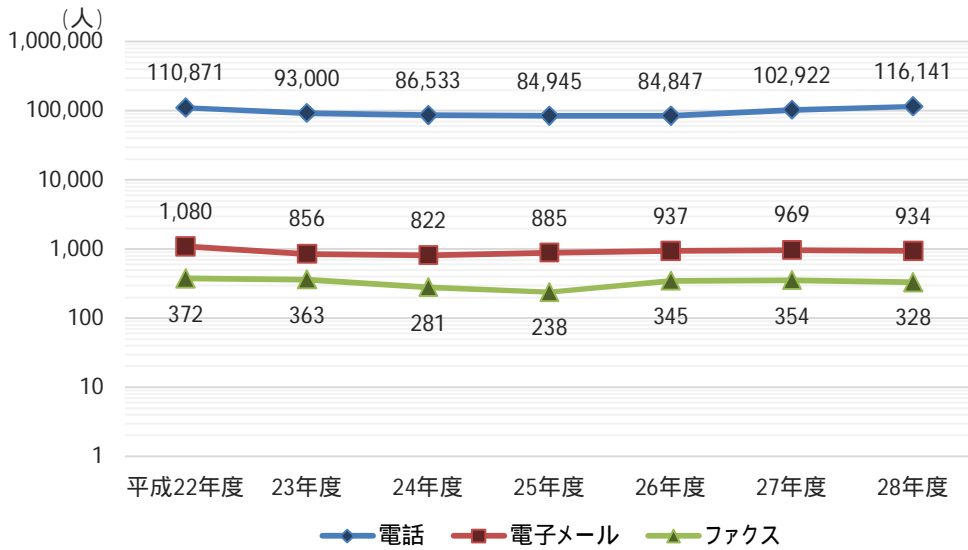
資料) 相模原市提供資料より作成

図表V-30 わたしの提案の受付件数



資料) 相模原市提供資料より作成

図表V-31 コールセンター利用状況

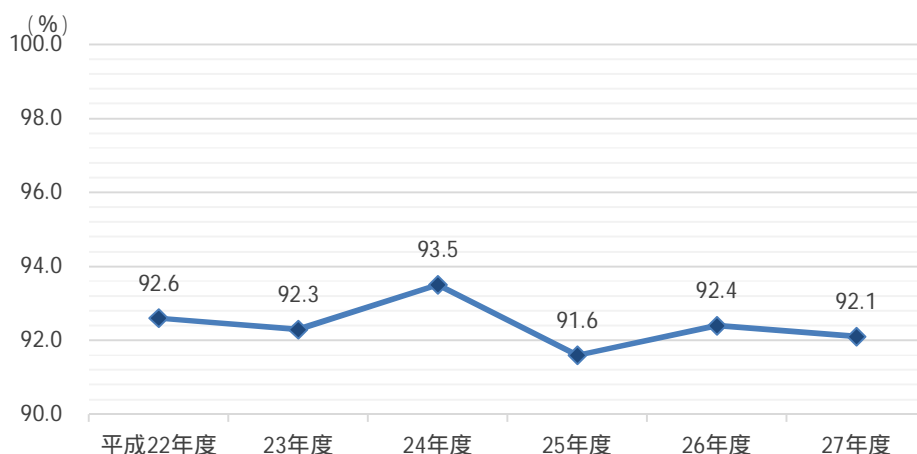


資料) 相模原市提供資料より作成

【取り組みの方向2】 情報発信力の強化

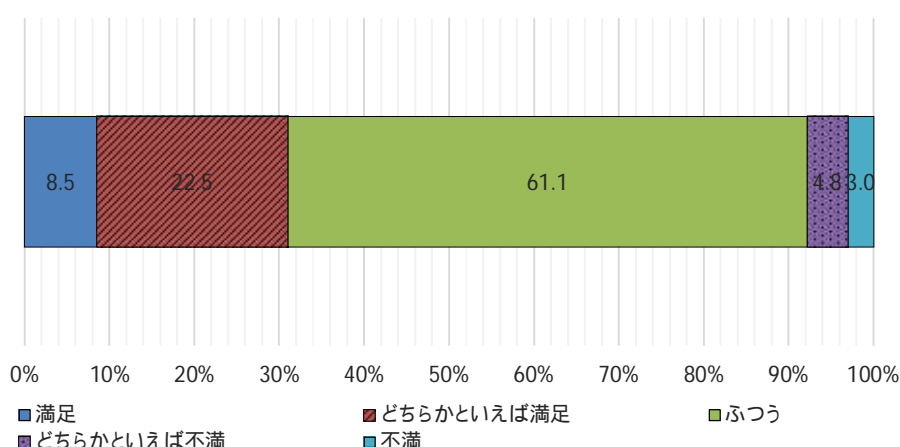
- 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合は 92%前後で増減を繰り返しつつ概ね横ばい傾向で推移している。ただし、指標値は「十分である」「どちらかと言えば十分」「ふつう」の合計であり、ふつうと考えている市民が最も多くの割合を占めている点に留意が必要である。
- 市の HP 閲覧者のうち肯定的な評価をしている閲覧者は過去 1 年間で減少している。
- 市のシティセールス関連の SNS 登録者数は着実に増加している。
- 公文書を保存し市民の活用を促進する公文書館における目録整備件数は増加傾向にあるが、施設利用者数は過去 1 年間で減少している。
- ちょっとお知らせ相模原のいいね数は 2017 年 4 月時点では 1129 件であり増加傾向にある。

図表V-32 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合（再掲）



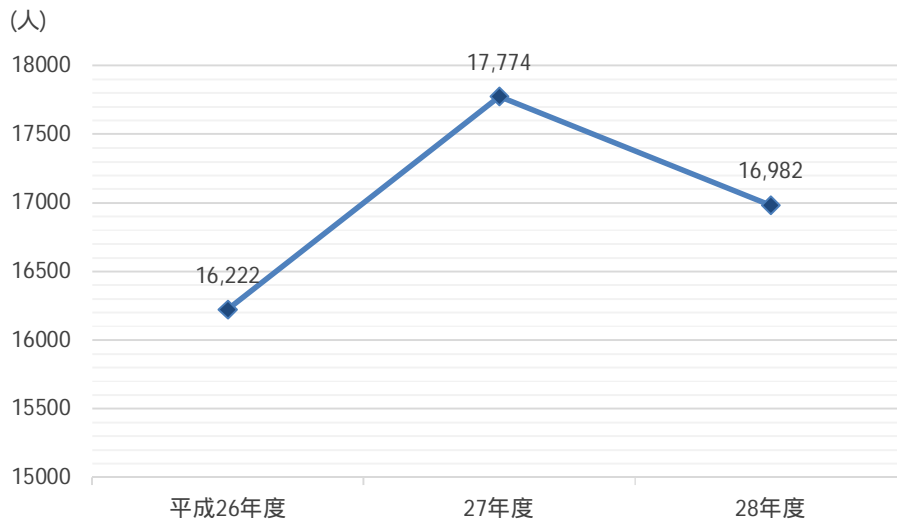
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-33 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合（内訳、平成27年度）



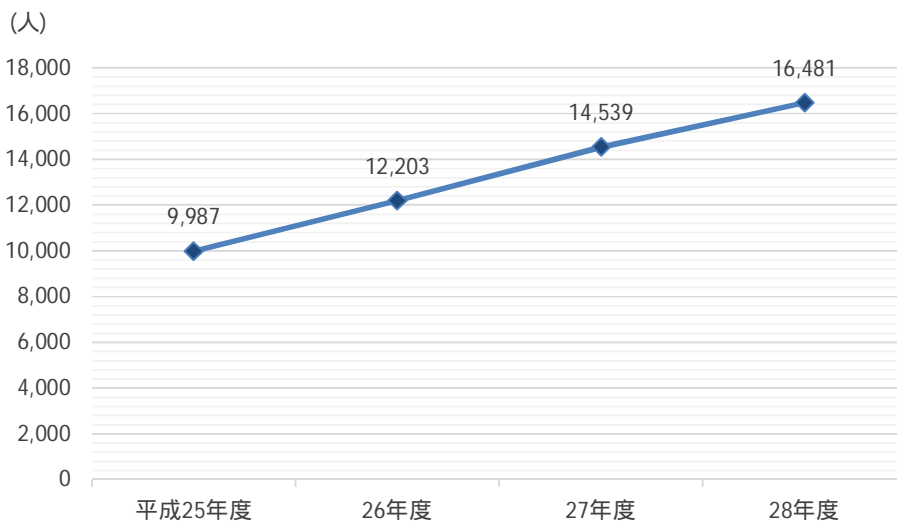
資料) 相模原市「相模原市総合計画の進行管理等に係わる市民アンケート調査（平成 27 年実施）」より作成

図表V-34 市ホームページ閲覧者のうち肯定的閲覧者の推移



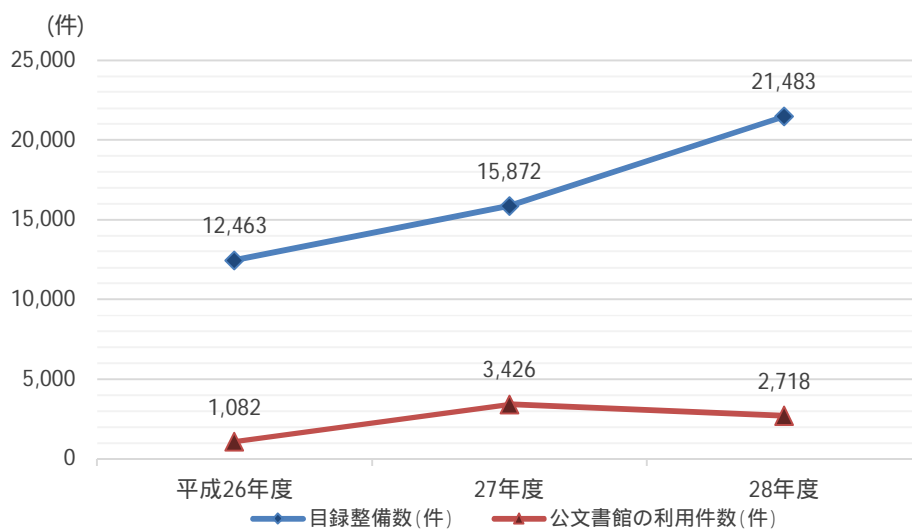
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-35 市のシティセールス関連SNS登録者数



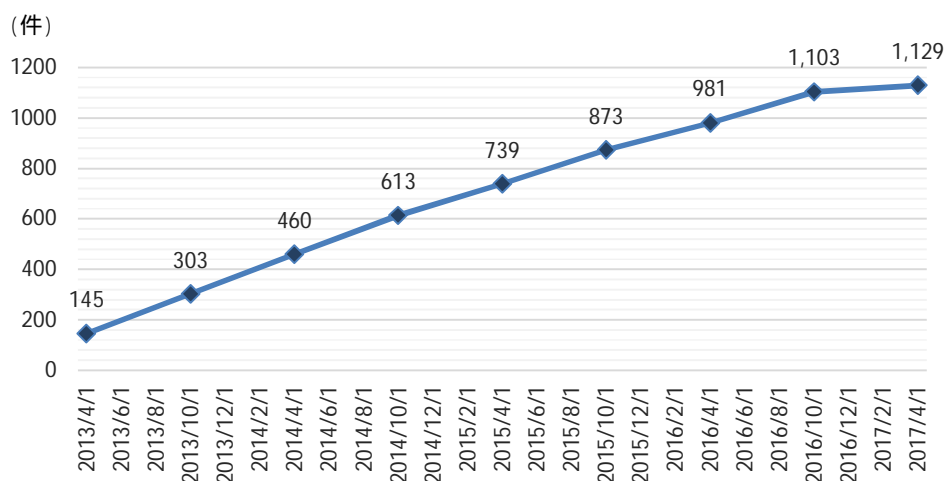
資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-36 公文書館目録整備件数及び利用者数



資料) 相模原市総合計画進行管理シートより作成

図表V-37 ちょっとおしらせ相模原のいいね数の推移



資料) 相模原市提供資料より作成

(3) 現状のまとめ

取り組みの方向1 広聴・相談体制の充実

- 市政に意見を言える機会や手段が備わっていると思う市民の割合は横ばいで推移しているが、ふつうと考えている人が最も多くの割合を占めている。また、広報、市民相談件数は微減傾向にある。

取り組みの方向2 情報発信力の強化

- 市からの情報提供の手段や内容に満足している市民の割合は92%前後で横ばいと高水準で推移しているが、ふつうと考えている人が大部分を占めている。また、市のシティセールス関連のSNS登録者数、公文書館の目録整備数とも増加傾向にあるなど情報発信に係る取組の実績は拡大している。